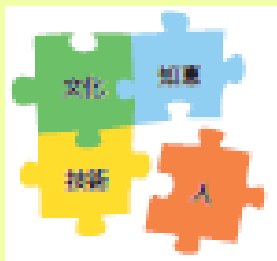


2015・7・28

マルチステークホルダー会議 ～2012ロンドン五輪における 企業の取組みと環境配慮～



NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット

NPO GENKI Net for Creating a Sustainable Society 2015



スポンサー企業の取り組み

飲食企業の食品皿はコンポスト可能に

マクドナルド社との連携

- 容器をたい肥化可能なものにしてほしいと要望
➡ 否定
- 現行容器を調査し、現行の70%はすでにたい肥化可能。変更は30%、ストローとカップのふたのみと定量的に調査して要望 ➡ 応諾



マクドナルド店頭の、すべての食べ物ごみと容器類はオレンジのボックスに投入可能に
(日本での取り組みなどは、未定)

Working with sponsors

- Design in recyclability
- Encourage innovation
- Consistent & clear messages



開会の5年前から準備

デザイナー、サプライヤー、建設会社、廃棄物事業者、WRAP、LOCOGスタッフと共に設計段階、開催中、閉会後の建物の解体までを視野に入れて「持続可能なごみゼロイベント」を目指した。

- 構造物はサプライヤーと連携して、標準規格のものを使い、基本はレンタル。例えばアルミ枠はポータブルな設計とし、使用後はサプライヤーに返却。
- 建物内の備品は、同じく規格品を使い、テーブル、調理機器、調理ユニット、備品などはレンタル。
- 開催中は、スタッフ研修を徹底し、分別のお手本を示した。
- フードビジョンに対応してイングランド内の食糧調達を行い、魚は海のエコラベルを実践。

結果として、75%のリユース、リサイクルを達成し、25%をエネルギー回収。
埋め立てごみはゼロを達成。



建造物の木材は
すべて森林認証のもの



LOCOG Learning legacy-Lessons learned from planning and staging the London 2012 Gamesより

コカ・コーラ社

明るく楽しいキャンペーン(70日間)

- Keep happiness going: Recycle
- Recycling: It's a team event
- Feel like a winner: Recycle



取締役Muhtar kent氏のコメント

持続可能性の大切さを知った消費者は、おいしいという理由だけでは商品を買いません。かれらは、商品を選ぶとき、その会社が持続可能性に社会的責任を持っているかどうかも商品の選択基準にします。

リサイクル部長

持続可能性のメッセージは、オリンピック企業の原則です。私たちはスポンサー企業として、2007年から準備を始めました。その頃ロンドンはまだ分別は効果的に行われていませんでした。だからこそ、この挑戦は、やりがいを感じました。

持続可能なイベントゲーム・コーディネーター

コカ・コーラ飲料を売るチームと共に、持続可能性のオリンピック戦略を作りました。我々のスタッフは、この持続可能性ゲームに大変興味を持ち、我々はコカ・コーラ社がどんなにプライドをもってこの事業を行っているかを社員に感じてもらいました。これは社員のモラルを高め、自信をもって働き、そのことが社会に広く伝わりよいメッセージを発信できました。

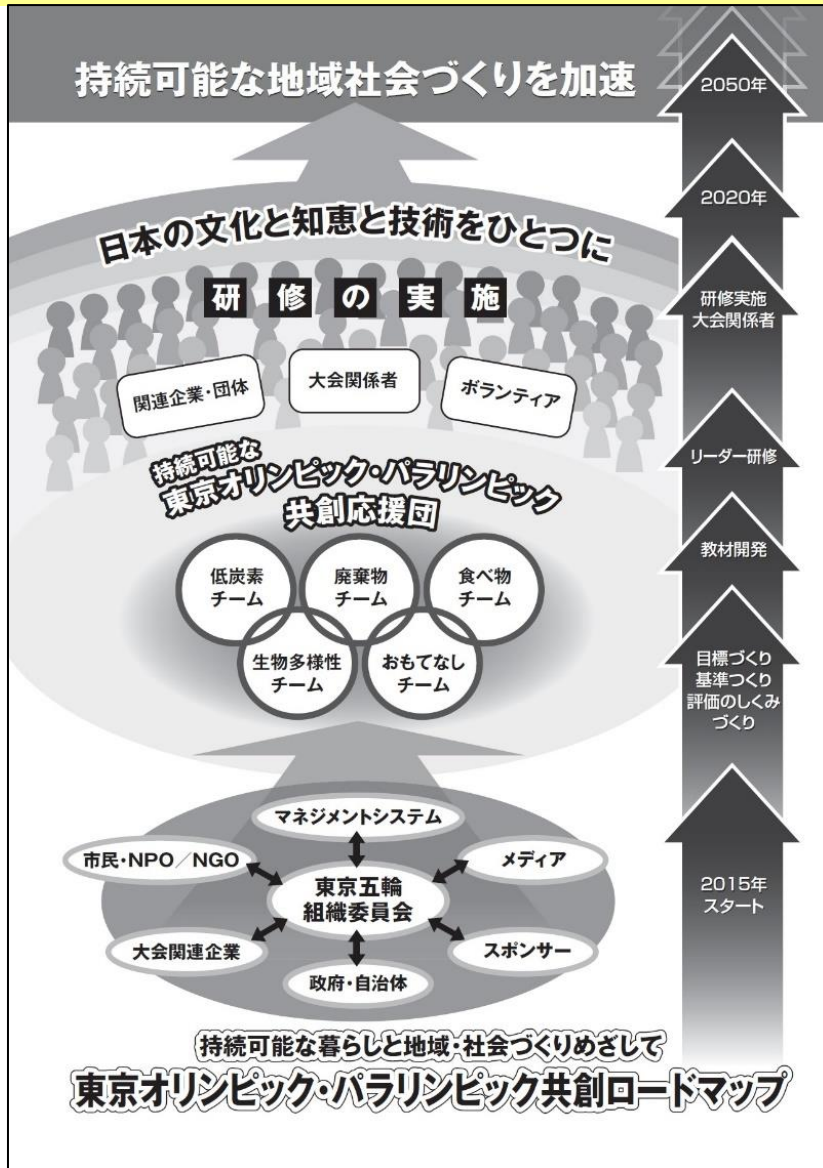
- このキャンペーンを見たことがある人 3,700万人
- 直接キャンペーンに参加した人 765万人
- その後、行動が変わったと答えた人 34万人

【調査会社の消費者調査結果】

- リサイクルをサポート 知っていた人 34%
- // 会場で知った人 65%
- コカ・コーラ社に好感を持った人 80%
- リサイクルをもっと進めたほうがいいという人 93%

Coca-Cola Olympic Experience, 2012 Nielsen Consumer Researchより

環境配慮商品を消費行動につなげていくために 2020年を目標として何をするか



この学習会は一部地球環境基金の助成にて実施します

2014年9月元気ネットがロンドンで出逢った
2016年リンドン大会のスーパーバイザー
Dr. Mervyn Jones 氏と学ぶ

持続可能性への挑戦 学習会

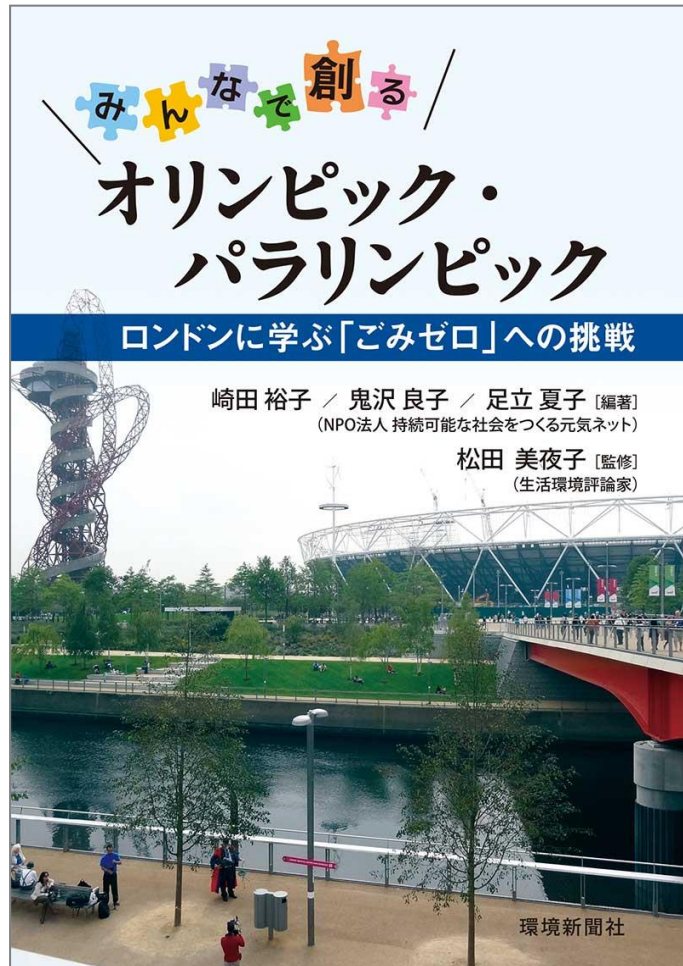
～みんなで創る東京オリンピック2020～
市民・NGO・民間の知恵を結集
ロンドンオリンピックのレガシーを受け継ぎ、
更なる飛躍を！

日時: 2015年8月12日(水) 13:30~16:30

場所: 主婦会館プラザエフクラルテ(JR四ツ谷駅 麹町口前)

参加費: 無料/資料代: 1500円/定員: 150名

さらに詳しくは、この本で!!



2014年9月ロンドンを視察した報告書です。

連絡先

- NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット
または、環境新聞社
- 元気ネット事務局: 新宿区西新宿 6-12-7-807
- Tel: 03-5326-7366
- Fax: 03-5326-8794
- E-mail: info@genki-net.jp
- URL: <http://www.genki-net.jp/>